

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践について。	身体拘束をしないケアに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束等適正化のための指針(作成済) ・ホームにおける身体拘束等の適正化に関する基本的な考え方を念頭に置き、行動する。 ・身体拘束等を行わずにケアを行うために、3つの原則を理解する。 ・「身体拘束廃止委員会」を設置し、3ヶ月に1回は内部の研修会を実施する。 	12か月
2	35	災害時の一時避難場所について。	一時避難場所の設定と準備を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上の3階への避難訓練を行っているが、準備物の不足や普段からある物を活用できるような工夫を考える。 ・地域住民の避難場所になることも想定して、設定や準備体制を決めて対応する。 	12か月
3					か月
4					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。